

児童デイサービス月のひかり

令和3年度放課後デイサービス評価表等集計結果の公表について

放課後等デイサービスガイドラインに基づき、「児童デイサービス月のひかり」において「事業者向け自己評価表」並びに「保護者等向け評価表」による評価を実施いたしましたので、その集計結果について公表いたします。評価結果を踏まえ、今後も皆様にご満足いただけるサービスの提供に努めて参ります。

また、今回は月のひかりとして独自にアンケートを行いました。進路や地域サービスについて、今後の勉強会等で取り上げるテーマなどたくさんのご意見を頂きました。これについての回答や対応は、利用者の方々へ直接文書で回答していきたいと考えていますのでよろしくお願い致します。

月のひかりでは、今回のアンケートに限らず、ご意見ご要望がありましたら、いつでも気軽にお寄せ頂ければ幸いです。

アンケートにご協力頂いた保護者の皆様ありがとうございました。

令和4年2月

令和3年度 月のひかり保護者アンケート

●現在、地域のサービス資源について、こんなサービスがあればいいと思っている事がありますか。

- ・ショートステイを利用できる事業所を増やしてほしい。(複数回答あり)
- ・行動援護を提供する事業所が少なすぎる。
- ・生活介護事業所が終了後過ごせる場やサービスがほしい。
- ・土曜日利用できる事業所が増えてほしい。
- ・休日等に過ごせる場所があるといい。
- ・通学に対しての送迎サービス。共稼ぎ世帯で現在出勤時間の調整をしているが、将来的には不安。是非サービスがほしい。(複数回答あり)
- ・学校の運動系の部活動は難しいので、部活動の代わりにスポーツなど体力づくりを提供してくれるサービス。
- ・大人の日中活動は15時～16時で終わってしまうので、延長して利用できるサービスがほしい。(複数回答あり)
- ・障害に対しての理解が進むような仕組み。
- ・学校長期休業の際、施設開所時間まで子どもを預けてその後施設に送り届けるサービス。
- ・フリー乗降福祉バス。
- ・好きなことや得意なことを行える事業所。
- ・生活介護やグループホームの増設。
- ・学校を卒業しても学習できる支援がほしい。生活介護などでの学習カリキュラム。

●お子さんの将来像を、現時点でどのようにお考えですか。(就労系 生活介護など)

そのために、今後何をしようと考えていますか。

- ・就労A,B生活介護にこだわらず、本人が毎日楽しく自分らしく生活していける場を見つけていきたい。
- ・色々な事業所を見学していきたい。
- ・今は、好きな事を沢山見つけて趣味を広げていきたい。
- ・高等部2年生から情報収集に動き出したが、もっと早く動き出せばよかった。
- ・自立して働けるようになってほしい。
- ・就労系は難しいので生活介護を考えている。
- ・毎日安心して通える生活介護。卒業後もリズムを崩したくない。
- ・将来の大まかな進路を決め、高校を受験しその先にやってみたい事を見つけ、進学や就職をしてほしい。
- ・普通に仕事ができる人に優しく接する事ができる人になってほしい。

- ・就労系を考えている。仕事はこういうものだという事を覚えてほしい。
- ・生活介護。自分の意思を伝えられるようにしたい。
- ・小学部なので、まだ思い浮かばない。まずは、集団活動に慣れるように支援したい。
- ・一般就労、色んな人と関わる機会を増やしてあげたい。(複数回答あり)
- ・生活介護、グループホームも利用したい。(複数回答あり)
- ・就労を目指したい。そのためにコミュニケーションのとりかたなどを学んでほしい。そのために職種を探したり見学などをしてみたい。(複数回答あり)
- ・福祉的就労。そのために社会性を身に着ける勉強をしていく。
- ・本人の希望と親の希望が違う。現在思案中。
- ・生活介護。今はできるだけ身の自立ができるよう支援したい。
- ・自立を目指し、1日のスケジュールを決め自分で動けるような生活を送らせたい。

●**職員の支援について、感じている事があれば具体的にお聞かせください。**

- ・年度当初、職員の顔写真と名前の紹介があればありがたい。
- ・活動内容を、本人の様子を含め詳しく知りたい。連絡帳の内容では伝わらない。
- ・一人のスタッフに伝えても全員のスタッフに伝わらない事があり、何度も同じ事を言わなければならない。
- ・家庭では体験できない様々な支援をして頂ける。親の不安や悩みを聞いてもらえてよかった。

●**今後、月のひかりの勉強会等で取り上げてほしいテーマや内容があればお聞かせください。**

- ・卒業して1~2年目のお子さんのいる親目線の先輩ママの話をお聞きしたい。
- ・入所施設の充実化。
- ・親なき後は、どのような生活になるのか知りたい。(複数回答あり)
- ・親なき後、子どもにどのくらいお金も残せばいいか知りたい。
- ・思春期の接し方。二次性徴期の関り方など。性について。(複数回答あり)
- ・親がすべきことを専門職の立場からお聞きしたい。
- ・高等部卒業後の生活について。(複数回答あり)
- ・外出先や旅行先をどうやって本人と決めているのかなど。良かった方法や失敗談など。
- ・障害基礎年金について。その他の手続きなど。(複数回答あり)
- ・障がい児の兄弟姉妹について。
- ・親の介護と、障害児の支援の両立について。
- ・進学や就労について。卒業後の選択肢を教えてほしい。
- ・施設見学を希望したい。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 2月 25 日

事業所名 児童デイサービス月のひかり

		チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	64%	36%	・感覚過敏なお子さんが増えているので、施設外の資源を利用したりと工夫をしながら支援しています。
	2	職員の配置数は適切である	73%	27%	・前年度より、保育士、児童指導員を増やして支援の質の向上を目指しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	82%	18%	・二階建てで、段差階段があります。危険な場所では見守りをしていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	91%	9%	・毎日、支援や業務の振り返りを実施しています。緊急の課題はパート職員も参加し全体で検討する会議を適宜に開催しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・事業所独自のアンケートを実施し具体的な要望等を反映できる機会をつくっていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	91%	9%	・法人HPで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	・第三者評価未実施なので、法人として体制が取れるようにしていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・オンライン会議が増えて参加しやすくなり研修の機会が増えました。 ・「虐待防止研修」を2回実施しました。 ・強度行動障害支援養成は基礎実践修了者が8割になります。 ・独自に支援力向上関連の研修を通年で実施しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・支援計画の質を上げるために、アセスメントの更新には力を入れています。 ・最新の情報を把握し支援に活かしていきます。ご家族のご協力をお願いします。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・アセスメント質を上げるためにも、必要に応じて内容を見直していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・お子さんの特性に合わせてできるだけ、意思を反映できる内容を心がけています。 ・長期休みのプログラムは体験を重視して立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	64%	36%	・現在、個別課題を多く準備中です。活動のメリハリとして、お子さんにあった個別課題を準備し、活動スケジュールにも反映していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	91%	9%	・長期休暇のプログラムは、年間計画及び担当制をとり詳細を検討し立案しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・お子さんの特性に合わせた活動を検討し、計画に反映しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・必ず実施しています。また、個別の最近の状況も確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・帰り送迎後に必ず当日の振り返りを行っています。また、当日にあったヒヤリハットも合わせて確認しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・お子さんに合わせて適宜に実施していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	91%	9%	・創作活動は、法人のららのスタッフと協同で取り組んでいます。また、発表の場も多く設け、地域との交流にもなっています。 ・学校や家庭で体験できない事を提供できるように支援しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・事業所で必要を感じた時は、相談事業所へ開催の依頼をしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	・共通課題は積極的に情報交換しています。 ・学校での生活の状況、学習の状況を積極的に情報収集を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	0%	・現在、対象児がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	45%	55%	・ご家族からの聞き取りのみになっていますが、必要であればご家族了解の上共有していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	・昨年度、学校と話し合い移行会議の席に月のひかりも同席できるようになりました。お子さんの情報を大人の事業所等に伝達していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	73%	27%	・主催の研修会には積極的に参加しています。 ・残念ですがセンターの発信情報が少ないと感じています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	27%	73%	・コロナ禍で、積極的には働きかけていません。 ・ガイドライン等でも求められていますが、児童クラブや児童館の所管する部署も含め、放課後デイとの連携を周知されていないように感じています。 ・地域の公民館での活動を計画しましたが、利用を断られました。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	・協議会を活用するようにしています。 ・児童発達部会へ積極的に参加します。 ・児童資源の課題を部会を通じて提言していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・家庭連携を大切にしています。 ・事業所の目標として、家族支援を大きな柱としています。ご家族の安定はお子さんの成長に大きく影響を与えるので丁寧に行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	64%	36%	・トレーニングとしては実施していませんが、保護者の方々が地域の情勢を理解できるような情報提供をしていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・丁寧に内容をお聞きし、できる限り解決に向けて助言を行っていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	18%	82%	・今年度も実施できませんでしたが、懇親会や勉強会を企画実施していきます。
保護	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・意見や苦情を言いやすい関係性を作っていきます。 ・苦情の背景を考察し早期に改善できるようにしていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・月一回のデイだよりの発行 ・長期休みの時の活動予定配布 ・活動内容等に関するアンケートの実施 を行っています。

利用者への説明責任等	35	個人情報に十分注意している	91%	9%	・写真等の取り扱いについて、公開していい範囲を確認し慎重に行っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・個別の特性に配慮したツールを検討していきます。 ・営業時間外でも、電話やメールでの問い合わせ等を受けています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	27%	73%	・いきいき100歳体操の実施、地域の高齢者へ体操の機会と場を提供しています。今年度はコロナ対応で未実施です。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	・保護者の方へ説明していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	82%	18%	・訓練時間帯など、多様な状況設定で訓練できるようにしていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・虐待防止関連の研修を2回実施しました。 ・職員の行動規範のチェックを定期的を実施しています。 ・日々の振り返りで、不適切な支援がなかったか確認しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	・身体拘束等を行わない為に支援の質を向上させます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	91%	9%	・指示書や家族からの情報に沿って対応させていただきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・ヒヤリハットがあった日はその日に原因や予防について話し合っています。 ・法人のリスク検討会で事例を定期的に配布確認しています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 2月 25日

事業所名 児童デイサービス月のひかり

保護者等数(児童数) 62 回収数 50 割合 80 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	86%	10%	0%	4%	・スペースはあると思うが面談時に床にゴミやほこりが落ちていたことが気になった。	・不快な思いをさせて申し訳ございません。日々の点検を強化していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	78%	8%	0%	14%	・職員の配置数は適切と思う ・保育士や福祉に関する資格を有しているか分からない。	・契約時、重要事項説明書で説明させていただきましたが、より分かりやすくお伝えするようにします。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	84%	12%	0%	4%		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	94%	4%	0%	2%		・アセスメントの更新を随時していきたいと思っておりますので聞き取りの協力をお願いします。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	78%	18%	0%	4%		・年数回、活動に関して要望アンケートを実施しています。ご意見をお寄せください。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12%	38%	16%	34%		・地域の公園活動などで、自然と触合う機会を作っていきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	92%	8%	0%	0%		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	86%	14%	0%	0%		・学校の様子を含め、ご家庭との情報共有は常に行っていきたいと思っております。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	84%	16%	0%	0%		・常にどのような相談にも対応していきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	28%	38%	18%	16%	・コロナのため仕方ないと思う。(コロナ前はあったので問題ないと思う)	・勉強会や懇親会が開催できずにいます。状況をみながら早期に開催したいと思っております。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	74%	10%	0%	16%		・普段から伝えやすい関係性、雰囲気大切にしています。また、苦情に対しては迅速に丁寧に対応してまいります。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	88%	10%	0%	2%		・特性に合わせた、ツールを使用しながら行います。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	92%	2%	2%	4%	・月のひかり便りに子どもの活動時の写真をたまにでもいいので載せて欲しい。	・取り扱いに注意しながら、できるだけ多くの写真を掲載したいと思います。
14 個人情報に十分注意しているか	92%	6%	0%	2%			

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	80%	4%	2%	14%		・機会を捉えて、緊急時の説明をしていきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	48%	16%	0%	36%	・必ずしも出来る子だけではないため、最低限スタッフが理解していれば問題ないと思う	・訓練が難しいお子さんも参加できるよう工夫しながら訓練を実施していきます。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	98%	2%	0%	0%	・いつも楽しみにしている ・第2の自宅のように思っている。	・できるだけ多くの体験を提供できるような、楽しいデイサービスを目指していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	96%	4%	0%	0%		・100%満足して頂けるよう努力してまいります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。